

(様式3) 目的設定表(令和03年度) 予算区分:通常

要求区分: 令和3年度当初予算

確定日(令和03年02月22日)

事業コード	04040203	政策コード	04	政策名	秋田の魅力が際立つ人・もの交流拡大戦略					
事業名	第77回国民体育大会冬季大会スキー競技会開催事業	施策コード	04	施策名	「スポーツ立県あきた」の推進とスポーツによる交流人口の拡大					
部局名	観光文化スポーツ部	課室名	スポーツ振興課	指標コード	02	施策目標(指標)名	全国や世界のひのき舞台で活躍できる選手の発掘と育成・強化			
		班名	冬季国体推進班	(tel)	1246	担当課長名	吉井和人	担当者名	土門久仁子	
評価対象事業(計画)の内容							事業年度	令和03年度	~ 令和03年度	
1. 事業立案の背景(施策目標の達成のために今なぜこの事業が必要なのか) 国民体育大会は、広く国民の間にスポーツを普及し国民の体力向上を図ると共に、地方スポーツの振興と地方文化の発展に寄与することを目的に、日本スポーツ協会・文部科学省・開催地都道府県の三者の共催により毎年開催されており、2022年(令和4年)2月の第77回国民体育大会冬季大会スキー競技会については、本県鹿角市を会場に開催するものである。							3. 事業目的(どういう状態にしたいのか) 「スポーツ立県あきた」を宣言した秋田県は、スポーツを「する」「みる」「ささえる」ことで多くの人々の交流を生み共感し合い社会の絆を強くしていくことを目的の一つに掲げており、冬季国体運営の成功によって、スポーツの価値を享受できるものである。 (重点施策推進方針との関係) 重点事業として要望 その他事業として要望			
2. 住民ニーズの状況 ニーズを把握した対象 受益者 一般県民 (時期: R01 年 08 月) ニーズの把握の方法 アンケート調査 各種委員会及び審議会 ヒアリング インターネット その他の手法 (具体的に) ニーズの具体的内容 「あきた鹿角国体2013」の成功等による蓄積された運営ノウハウや会場の運営の効率化などから、日本スポーツ協会及びスポーツ庁から再び開催して欲しいとの意向があった。なお、鹿角市花輪スキー場は、国体スキー競技会の全種目(ジャイアントスラローム・スペシャルジャンプ・クロスカントリー・コンバインド)が同一箇所で開催可能な、全国的にも類を見ない適地である。							4. 目的達成のための方法 事業の実施主体 主催者((公財)日本スポーツ協会、文部科学省、(公財)全日本スキー連盟、秋田県、鹿角市) 事業の対象者・団体 大会参加者(選手、監督、役員等) 達成のための手段 全国から集結する選手・監督、役員等が大きなトラブルもなく無事に大会に参加し、各県が互いに実力を発揮して競い合える環境を、鹿角市国体実行委員会とともに整備する。			
把握していない場合の理由及び今後の方針 理由 今後の方針							比較した代替手段及び選択した手段の有効性 第77回国民体育大会冬季大会スキー競技会は、鹿角市での開催が決定しており、県としては、鹿角市国体実行委員会が適正で効果的な運営ができるよう費用負担等を行うものであることから代替手段はない。			
5. 事業の全体計画及び財源 単位(千円)										
順位	事業内訳	左の説明	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	全体(最終)計画	
01	大会運営費(県執行分)	第77回国民体育大会冬季大会スキー競技会開催に係る実施本部員活動費等	4,479	0	0	0	0	0	4,479	
02	大会総務費(県執行分)	第77回国民体育大会冬季大会スキー競技会開催に係る大会役員・招待者対策事業費等	1,594	0	0	0	0	0	1,594	
03	広報費(県執行分)	第77回国民体育大会冬季大会スキー競技会開催に係る広報物品制作費等	9,083	0	0	0	0	0	9,083	
04	宿泊・衛生費(県執行分)	第77回国民体育大会冬季大会スキー競技会開催に係る医療救護対策費等	504	0	0	0	0	0	504	
05	開催市町村交付金(鹿角市執行分)	第77回国民体育大会冬季大会スキー競技会開催に係る開催地(鹿角市)への交付金	85,330	0	0	0	0	0	85,330	
	財源内訳	左の説明	100,990	0	0	0	0	0	100,990	
	国庫補助金	文部科学省補助金	20,741	0	0	0	0	0	20,741	
	県債		0	0	0	0	0	0	0	
	その他	公益財団法人日本スポーツ協会助成金、スポーツ振興くじ助成金等	68,909	0	0	0	0	0	68,909	
	一般財源		11,340	0	0	0	0	0	11,340	

6. 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み								
事業の期待される成果		国体冬季大会スキー競技会がトラブルなく無事に開催される。						
指標	指標名	国体冬季大会スキー競技会の選手・監督・大会役員の参加者数			指標の種類			
	指標式	国体冬季大会スキー競技会の選手・監督・大会役員の参加者数（第75回国体冬季大会スキー競技会の参加者数）			成果指標 業績指標			
	年度別の目標値（見込まれる成果による指標）							
	指標	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度
	目標a			1,769				1,769
	実績b			データ等の出典				
	東北			国体冬季大会スキー競技会報告書				
	全国							
把握する時期		当該年度中	03月	翌年度	月	翌々年度	月	
指標	指標名				指標の種類			
	指標式				成果指標 業績指標			
	年度別の目標値（見込まれる成果による指標）							
	指標	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度
	目標a							
	実績b			データ等の出典				
	東北							
	全国							
把握する時期		当該年度中	月	翌年度	月	翌々年度	月	
指標を設定することができない場合の効果の把握方法								
指標を設定することができない理由								
見込まれる効果及び具体的な把握方法（データの出典含む）								
事業の必要性								
現状の課題及び施策目的に照らした事業の必要性	国民体育大会は、広く国民の間にスポーツを普及し国民の体力向上を図ると共に、地方スポーツの振興と地方文化の発展に寄与することを目的としており、第77回国体冬季大会スキー競技会は、鹿角市で開催することがすでに決定しており、事業の必要性が高い。							
	住民ニーズに照らした事業の必要性							
	選手を応援する住民が盛り上がり、地域一体感の醸成に貢献できる国内最大の大会であり、大会の成功は地域活性化に寄与するほか、秋田県内のスキー競技力向上にもつながるため、ニーズが高い。							
	事業の県関与の必要性							
	法令・条例上の義務 内部管理事務 県でなければ実施できないもの							
	民間・市町村で実施可能であるが、県が関与する必要性が認められるもの							
	国民体育大会は、スポーツ基本法に定める重要行事の一つとして、日本スポーツ協会・文部科学省・開催地都道府県の三者共催で行われるものである。							
政策評価委員会意見							重点事業の適合及び指標・目標値の適合性判定	
							重点事業 その他	